

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-066189

(43)Date of publication of application : 09.03.1999

(51)Int.Cl. G06F 19/00

(21)Application number : 09-264809

(71)Applicant : KAMIYAMA CHIHARU

(22)Date of filing : 22.08.1997

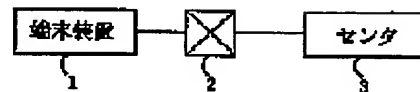
(72)Inventor : KAMIYAMA CHIHARU

## (54) TRANSACTION METHOD IN WHOLESALE MARKET

### (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To smoothly carry out reserved transaction by giving numbers for necessary factors such as the state of the market, estimating auction prices in advance, and determining dealing prices.

**SOLUTION:** While the daily or weekly price variation is analyzed according to past dealing information in dealing units to be predicted and information on relative commodities, prices for tomorrow and following days are speedily and easily predicted by a multi-variable analyzing method on the basis of price constitution elements obtained so far and those are regarded as previous dealing prices, or reference prices or reference prices to basically improve previous dealings so that they can be made smooth. In this case, the method includes a terminal device 1, a public telephone line 2, and a center 3 and specific auction prices of specific standards of a specific shipper are calculated as to individual commodities of tomorrow and following days according to past dealing data; and previous dealing prices are set on the basis of or by referring to them to determine the prices and quantities before auction.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-66189

(43) 公開日 平成11年(1999) 3月9日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>  
G 0 6 F 19/00

識別記号

F I  
G 0 6 F 15/28

B

審査請求 未請求 請求項の数5 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平9-264809

(22) 出願日 平成9年(1997) 8月22日

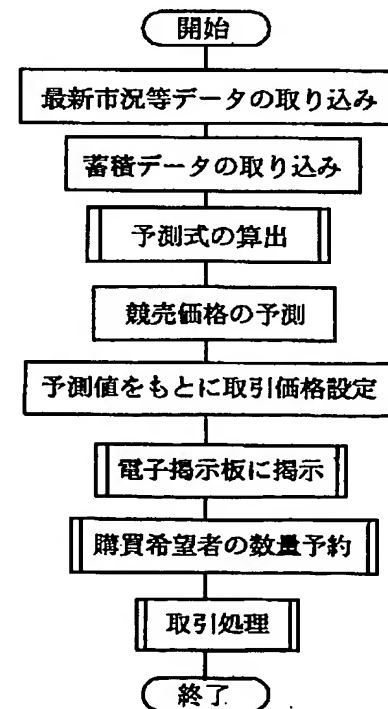
(71) 出願人 597137796  
神山 千晴  
岐阜県各務原市那加東亜町90番地の19  
(72) 発明者 神山 千晴  
岐阜県各務原市那加東亜町90番地の19

(54) 【発明の名称】 卸売市場における取引方法

(57) 【要約】

【目的】 関係要因をもとに予測する卸売市場における翌日以降の競売価格を取引価格若しくは基準価格若しくは参考価格として、情報通信網を介し若しくは会合の場に提示して当該物資相当品の予測日以前の事前取引を行う。

【構成】 市況等のデータにより競売価格予測のシステム、予測価格と関連情報を事前取引の場に提示するシステム及び購入を受け付けるシステム並びにこれらを連結統合するシステムで構成される。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 関係要因をもとに予測する競売物資の翌日以降の競売価格を当該物資相当品の予測日以前の事前取引に対して情報通信網を経由して若しくは会合の場に事前に提示することを特徴とする卸売市場における取引方法。

【請求項2】 提示する競売価格を取引価格とする請求項1記載の卸売市場における取引方法。

【請求項3】 提示する競売価格を取引の基準価格若しくは参考価格とする請求項1記載の卸売市場における取引方法。

【請求項4】 関係要因に競り人による経験値要因を加える請求項1記載の卸売市場における取引方法。

【請求項5】 関係要因に当該物資の価格との相関分析によって抽出される競合品に関する要因を加える請求項1記載の卸売市場における取引方法。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、農畜水産物の卸売市場における物資の取引に関し、予測される競売価格を提示して取引の価格と数量を事前に取り決める取引の方法に関する。

## 【0002】

【従来の技術】 翌日以降の取引に関し事前に数量と価格を取り決める予約取引では取引担当者の経験による見込みで行い、また、競売開始前に先に物資を引き取ってしまう先取りの価格は当該物資残品の競売価格をもとに後付け決定していた。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 青果物、水産物、花き、畜産物の卸売市場における取引は、競売を原則としているが、市場構造の変化に伴って、事前契約による相対取引の需要が大きくなっている。しかし、これらの物資は貯蔵性が低く易変性であり、天候等自然条件の変動によって需給バランスは容易に崩れ易く、相場が不透明であった。したがって、物資不在で取り決める事前価格には見直しが常在して取引に混乱があり、また先取りにおいては物資引き取り時に価格不明のため取引に多大の障害があった。

【0004】 従来、実際の取引日の価格を事前に予測する試みはあったが、競売単位の価格予測は困難であった。これは価格構成要素の取りあげ方が適切でなかったためであり、また、卸売市場における熟練者の経験による予測も誤差が大きく現実的ではなかった。

【0005】 しかし、卸売市場における物資の取引は商物一致による競売を原則としながらも、競売前に予め価格を取り決めて荷引きする要求が強くなっていた。そこで、事前に価格を取り決めて数量とともに取引を予約する方法が提案されたものの、事前に取り決めた価格は取引日の競売価格との相違が大きくなりがちで、事実上、

事前取り決めの価格が機能しないという欠点があった。

【0006】 したがって、実際には先取りが大勢を占める傾向が強いと云う問題点があった。このことに対し、透明度の高い公正な取引価格をもとにした取引の実現が囑望されていた。

## 【課題を解決するための手段】

【0007】 本発明で考案された新法は予測しようとする取引単位における当該物資の過去の取引情報および関係する他物資の情報をもとにして、日若しくは週の価格変動を解析しつつ、現在までの価格構成要素をもとに、翌日以降の価格を多変量解析手法によって迅速容易な予測を実現するもので、これを事前取引価格とし、或いは基準価格若しくは参考価格とすることで事前取引を円滑に実現できるよう抜本的に改めたところに特徴がある。

【0008】 本発明で考案された方法に基づいて競売価格の予測が行われ、これを基準として取引を行う方式が試験され、キャベツによる実証によりその卓越した効果が証明された。

## 【0009】

【作用】 過去の取引データをもとに翌日以降の個別物資に関し特定出荷者の特定規格の競売価格を算出し、これを基準若しくは参考にして事前の取引価格を設定して競売前の価格と数量を取り決めることを特徴とする。

## 【0010】

【実施例1】 卸売市場において、キャベツを対象品目にして、その個別出荷者の特定規格の翌日の競売価格を、具体的に数値で示す方法に関し検討し、これを事前取引の場に提示して購入予約数量を受け付ける取引方式を試験した。

【0011】 翌日の競売価格を予測するにあたっての必要な説明要因は前日までに入手できるものでなければならない。予測のための式は名義尺度をも要因として加えることから理論的には数量化理論Ⅰ類が適当であるが、この方法によれば連続尺度の数値をクラス分けしなければならないという複雑さを伴う。

【0012】 したがって重回帰分析との併用型が妥当であるが、結果の検討を踏まえ、また操作の単純さから、最終的に重回帰分析による重回帰式のみで価格予測することで十分な予測精度を得ることができた。

【0013】 予測式は、毎日のデータを加えて新たな式を作成して翌日の競売価格を予測した。説明要因の有効性を標準回帰係数のF値によって取捨選択し、取りあげた要因の中から10要因程度を有効要因として予測式に取り込んだ。

【0014】 取りあげた要因としては、翌日の特性として、該当物資の特定規格の予定入荷量、予想天気、市場の休み前後の区別。

【0015】 本日の特性として、天気、気温、物資全入荷量と価格、当該品目全体入荷量と価格、競合品入荷量

と価格。

【0016】過去の傾向を、暦の変動、すなわち日及び曜日の変動で表し、上記本日特性の要因の他、特定規格品の入荷量と価格に関し、単純値と計算加工値を取りあげた。

【0017】その結果、競売価格の予測と実際の誤差は5%以内におさまり、これを事前取引価格として、試験的に3日間に亘り会合によって、さらに別の3日間を公衆通信網を用いRS232Cインターフェースを介してセンタとして設置したコンピュータ上に価格と入荷数量並びに関連情報を掲示し、これに対し予約購入数量を受け付けて取引を成立させることが出来、本発明による卸売市場における取引方法の十分な実用性が認められた。

【0018】

【発明の効果】以上の説明から明らかなように、卸売市場における取引方法において、本発明は以下に記載され

た効果を奏する。

【0019】市況など必要要因の数値を与えることにより、事前に競売価格を推定し、これをもとに取引価格を定めることによって予約取引を円滑に実現できる。

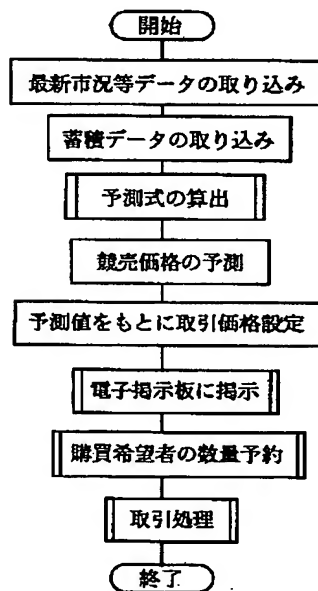
【0020】予測する競売価格は予測式によって単純に得ることができる。

【0021】本発明によれば競売価格を事前に精度良く推定できるため情報通信網利用による取引が容易で、従来の先取り及び現物取引を抜本的に改革し、産業的合理化に極めて貢献度が高い。

【図面の簡単な説明】

第1図はこの発明の一実施例の動作を説明するフロー図である。第2図はこの発明の一実施例の卸売市場における取引方法を示す図である。図において、1は端末装置、2は公衆通信網、3はセンタを示す。

【第1図】



【第2図】

